



みのわ通信 No. 131

発行：【箕曲地域づくり委員会】
TEL/FAX：0595-63-0453

〒518-0441 名張市夏見215 箕曲市民センター内
E-mail: minowa-ko@emachi-nabari.jp



箕曲地域防災訓練実施～安否確認済み493世帯

災害弱者を意識した避難支援に重点を

「地域ぐるみで命を守る（備えや支援）防災意識を高めよう」をテーマに掲げての防災訓練が十一月十六日（土）に行われました。箕曲地域の災害対策本部を立ち上げ、本日より各区長へ、区長から地域の皆さんへの伝達および安否確認を行いました。

今回は近所における災害弱者（独居高齢者など）を意識し、実際に家庭に赴き、声かけ・救助、避難支援に重点を置



中学生も活躍

いた取り組みを行いました。今後も支援を必要とする対象者が増えてくる状況となってきました。今回の取り組みを糧に見守りや援助の在り方について地域で話し合いました。

して防災避難グッズの確認をしました。



防災講演

被災地支援に赴いて

今年早々に被害の



あった能登半島地震の支援に赴いた名張市の職員より被災地の状況や生活への支援、そして経験で感じた助け合いや事前の備えなどについての防災講演がありました。



間もなく一年が経過しますが、秋の豪雨被害と重なり復興は進んでいません。

民生児童委員による炊き出し訓練

避難所での生活体験として炊き出し訓練、そして非常食での食事を味わいまし



た。各家庭での日頃の備えとともに、避難所の生活を送るための開設運営についても、備品や役割を整えておかなければなりません。今回の訓練を各家庭、地域で振り返り、防災意識を生活に生かしていきましょう。

備えよう避難グッズ



今すぐ確認・実行！住まいの防犯対策

空き巣などの「住宅を対象とした侵入窃盗」は2004年以降減少してきましたが、2023年は増加に転じています。また、凶器などで住人を脅して金品を強奪する「住宅を対象とした侵入強盗」も連続して発生しています。昨今は各地で宅配業者やガス器具等の点検業者を装った強盗事件も発生しています。また、SNSなどで募集した闇バイトの実行犯を現場に向かわせ、現金や高級時計、貴金属などの資産を狙う強盗事件も多発しています。巧妙かつ凶悪な手口も増えているなか、防犯対策をより一層強化し、自分や家族の命を守ることが求められています。

なお、侵入者が犯行をあきらめた理由で多いのは「近所の人に声をかけられたり、ジロジロ見られた」です。侵入者は、目星をつけた地域や家の下見を行うことが多いと言われています。住人の在宅時間のほか、侵入のしやすさ、逃げやすさなどを事前にチェックし、犯行に及んでいません。侵入者は「近所付き合いが良く、連帯感のある住宅街」を嫌うといわれており、日頃から挨拶や見知らぬ人への声かけを通じ、侵入者を生活圏内に入れないなど「地域の目」を生かし、防犯につなげることが大切です。



防犯10のポイント！ 警察庁「住みいる防犯110番」

<在宅・帰宅時の行動>

- ① 確実な施錠は防犯の第一歩。在宅時でも、出入り口や無人の部屋の窓に鍵をかける習慣をつける。
- ② 訪問者に対しては、不用意にドアを開けず、まずドアスコープやインターホン越し等で確認する。

※宅配業者の訪問を偽装した手口には、荷物の受け取りに宅配ボックスを活用するなど、宅配を直接受け取らない方法をとることが大切です。

- ③ 帰宅した際は、背後や周囲に人がいないか、よく確認する。夜間は特に注意を払い、油断しない。

<住宅の防犯対策>

- ④ 日頃から建物周囲を整理整頓し、侵入されにくい環境を整えておく。
- ⑤ 玄関をツーロックに、窓に補助錠を取り付けるなど、防犯性能の高い建物部品(錠・ドア・防犯フィルム・シャッター等)を設置、活用する。
- ⑥ 窓や玄関への防犯カメラやセンサー付きライト等を有効に活用し、侵入しにくい環境を。
- ⑦ 長期不在するときは、隣近所へ声を掛け合ったり、郵便物・新聞などの配達を止める。

<日常での心構え>

- ⑧ 合鍵の不正作製を防止するため、鍵を家族以外の人に「見せない」「渡さない」、写真や動画で「写さない」。
- ⑨ 自宅に必要以上の現金を置かない。電話などで在宅状況、家族構成、資産状況等を聞かれても答えない。
- ⑩ 不審に感じたときは、ためらわずに110番通報する。

